

記者配布資料

平成 27 年(2015 年)1 月 8 日

| 所属名 | 所属長名 | 部局長名 | 担当者職・氏名 | 連絡先 |
|---------------|--|------------------------------|--|--------------|
| 山口県立大学 | 学長 ながさか ゆうじ 長坂 祐二 | 教育研究推進室長 いわの まさこ 岩野 雅子 | グローバル人材育成推進オフィス プロジェクトマネージャー もりちか しんじ 森近 慎治 | 083-928-5410 |
| 発表内容の 関係地域 | 全県、岩国、柳井、周南、山口、防府、宇部、山陽小野田、下関、長門、萩、首都圏 | | | |

1 件名

文部科学省 経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成支援事業フォーラム

「インターローカル人材が切り拓く地域社会の未来」の開催について
～グローバルな視点から地域をデザインする～

2 概要

山口県立大学では、文部科学省「経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成支援事業」を通して、世界の地域と山口をはじめとする日本の地域をつなぎ、地域課題解決に取り組む「インターローカル人材」を育成する取組を行っています。

本取組では、地域（ローカル）の課題を理解し解決策を提案する力を培うと共に、地域の一員になる気持ち“地域マインド”を育むため、地域の力を活用して学習を進めます。また、国際的（インターナショナル）な視点を持ち、地域資源を海外へ発信できる能力を養うなど地域と共に行う実践活動を通して、地域に貢献します。

この度、本事業の一環として、標記フォーラムを開催します。

3 日程・内容等

(1) 日時

平成 27 年 1 月 24 日（土） 13:00～18:00

(2) 会場

山口県旧県会議事堂 ※添付チラシ案内図

(3) 内容

当日のプログラムについては、添付チラシのとおり

(4) その他

参加無料（事前申込制 1 月 20 日（火）まで）

4 問合せ・申込み先

山口県立大学教育研究推進室グローバル人材育成プロジェクトチーム

〒753-8502 山口県山口市桜畠 3 丁目 2-1

TEL/FAX：083-928-5410（平日 9 時～17 時）

global@yamaguchi-pu.ac.jp

 グローバル人材育成推進事業

 公立大学法人
山口県立大学
Yamaguchi Prefectural University

インターローカル人材が切り拓く 地域社会の未来

～グローバルな視点から地域をデザインする～



1/24 土

13:00~18:00

会場：山口県旧県会議事堂
山口市滝町1番1号

参加無料

事前申込制
1/20 (火)まで

基調講演



地域資源を活かした地域づくり
～いなかビジネスの観点から～
講師 畦地 履正氏

| | | |
|-----|---|---------------|
| I | 域学共創学習プログラム成果発表 & 講評 | 13:00 ~ 15:00 |
| II | 地域資源を活かした地域づくり～いなかビジネスの観点から～ 基調講演 畦地 履正氏 (株) 四万十ドラマ代表取締役 | 15:30 ~ 16:15 |
| III | パネルディスカッション | 16:15 ~ 17:00 |
| IV | 域学連携コンソーシアムプロジェクト活動発表 & 講評 | 17:00 ~ 18:00 |
| 会場 | 海外スタディーツアー・フィールドワーク等 写真パネル展 | 13:00 ~ 18:00 |



主催：山口県立大学

企画・運営：山口県立大学教育研究推進室グローバル人材育成プロジェクトチーム

後援(申請中)：山口県、山口市、山口県教育委員会、公益財団法人山口県国際交流協会、朝日新聞社
中国新聞防長本社、毎日新聞社、山口新聞社、読売新聞西部本社

※本事業は、文部科学省「経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成支援事業」の趣旨に基づいて実施いたします。



公立大学法人

山口県立大学

Yamaguchi Prefectural University

インターローカル人材が切り拓く 地域社会の未来

～グローバルな視点から地域をデザインする～

山口県立大学国際文化学部は、平成 24 年度文部科学省グローバル人材育成推進事業（タイプ B＜特色型＞）に採択され、世界の地域と山口をはじめとする日本の地域を結び、地域課題の解決ができるインターローカル人材の育成を進めています。

この度、地域課題の発掘と解決にむけてグローバルな視点から取り組む、学びの場（域学共創学習プログラム）と実践の場（産学公の域学連携コンソーシアム）の活動状況や成果発表の場として、フォーラムを開催します。

I 域学共創学習プログラム成果発表&講評

13:00～15:00

「グローバルな視点から地域の未来を構想する」～大学生による構想案の発表～

地域課題について調査分析を行いつつ留学先での研究計画を立てる「域学共創3」、さらに、海外にて得た知見を活かし地域で実践する手法を学ぶ「域学共創4」での成果を、のべ18名の学生がそれぞれプレゼンテーションします。いずれも「地域の未来を拓きたい」という意欲に満ちた構想案です。最後に、地域の皆様に審査員になっていただき、各学生の発表について評価をいただきます。

<審査員>

木梨 恒寛氏（アイセック・アルムナイ・ジャパン理事）、鈴木 俊介氏（株）経営技法 代表取締役）、
谷藤 裕氏（全日本空輸（株）山口支店長）、伊藤 明日香氏（yab 山口朝日放送アナウンサー）

<モデレーター>

安光 裕子（国際文化学部 文化創造学科長 教授）

<域学共創3・4担当>

斉藤 理（国際文化学部 文化創造学科 准教授）

田村 瀬津子（グローバル人材育成プロジェクトチーム 助教）

III パネルディスカッション

16:15～17:00

山口県の地域資源をブランド化し、県内外に発信していくためには様々な工夫・しかけが必要である。基調講演者の畦地氏にも参加していただき、具体例をとりあげながら地域資源の発信の考え方をデザインしていくことの重要性やグローバルな視点が価値の向上に必要であることなどをパネルディスカッションします。

<パネリスト>

畦地 履正氏（株）四万十ドラマ代表取締役）、山本 桂司氏（ながと物産合同会社執行責任者）、森 則和氏（日本貿易振興機構（ジェトロ）山口貿易情報センター所長）、
域学共創学習プログラム成果発表において最優秀賞を受賞した学生

<モデレーター>

水谷 由美子（国際文化学部 教授）

II 地域資源を活かした地域づくり～いなかビジネスの観点から～

15:30～16:15

基調講演 畦地 履正氏（株）四万十ドラマ代表取締役



<畦地履正氏プロフィール>

「四万十川に負担をかけないものづくり」をモットーに、四万十川流域の天然素材を生かした商品開発・販売、道の駅「四万十とおわ」の運営や観光交流事業等を手掛けている、株式会社四万十ドラマの代表取締役。「今ある地域資源に付加価値を付け、知恵を使って商品にする」という産業育成と地域のネットワークの2つの柱で四万十ドラマをつくる方針で事業を展開。地域資源に付加価値をつけた数々のヒット商品を手掛ける。

平成 19 年度 農林水産省「立ち上がる農山漁村」認定

平成 20 年度 経済産業省「ソーシャルビジネス 55 選」認定

平成 22 年度 地域づくり総務大臣表彰 最優秀賞受賞

平成 26 年度 6 次課産業プランナー

IV 域学連携コンソーシアムプロジェクト活動発表&講評

17:00～18:00

【地域資源3プロジェクトの活動経過報告】

山口県の優れた地域資源を国内外に売り込めるよう、グローバルな視点やデザインの力を活用して、地域課題の解決と発信をしていく活動を始めました。この活動は、域学共創学習プログラムの実践の場として位置づけており。本日は、「プロジェクト型」「地域実習型」「海外フィールドワーク・地域資源アンバサダー型」の3つの活動事例について発表をし、コンソーシアム会員と意見交換を行います。

<モデレーター>

安溪 遊地（国際文化学部 国際文化学科長 教授）



<書プロジェクト>



<海外ジャント>



<お茶ロード>

お申込み先

TEL/FAX: 083-928-5410

先着 160 名

下記をコピーしていただきFAX、あるいは必要事項を記載のうえメールにてお申し込み下さい。[定員になり次第締め切ります。事前申込:1/20(火)まで]

お名前:

ご連絡先:

ご参加人数:

名

山口県立大学教育研究推進室
グローバル人材育成プロジェクトチーム

TEL/FAX: 083-928-5410 (平日9時～17時)

MAIL: global@yamaguchi-pu.ac.jp

http://www.yamaguchi-pu.ac.jp/

